

京都府民総合体育大会小学生女子採点規則及び総体規則について

クラス別大会(表彰もクラス別 個人総合1位～3位メダル・賞状 1位～6位賞状・種目別1位～6位賞状)

全体について Eスコア及びその他については2017年度版(変更Ⅱ)に準ずる
変更Ⅱで認められている要素(平均台・床)は、構成要求として認められる
4要素以下の場合、Eスコアの最高点は以下の通り(跳馬以外)

4要素	6.00	3要素	5.00
2要素	4.00	1要素	3.00

跳馬

新型跳馬 110cm 3助走2跳躍

- 採点の観点
- 各跳躍に対して突き手・高さ・回転が正確に実施されているものを評価し失敗に対しては、はっきりし減点する。
 - 美しい体線での実施

Dスコア 難度表にないものはA難度とし次の通りとする

台上前転	1.00
------	------

※ 実施減点(Eスコア)は、5.00から減点

段違い平行棒

高さ 高棒250cm 低棒170cm

- 採点の観点
- 難度に対しては技術の正確な実施を要求する。
 - 肘の曲がり膝、つま先のゆるみが無い美しく伸びた体線での実施。
 - 演技の中断については厳しくチェックする。

Dスコア 5要素以上最大8要素で構成

CR 各0.5

- 低棒または、高棒で少なくとも1つ以上の技を実施
- 前方系の回転技
- 後方系の回転系の技
- け上がり(0.5)逆上がり(0.3)

※ 終末技を含む最大8つの高い順からの難度点を数える。

※ 逆上りをA難度として認める。

※ 下棒のみを使用しても採点に影響しない。

※ 同一技は2回まで要素として数える。

平均台

高さ125cm 台下には20cmマット
着地には20cm、10cmマットを使用可
(2枚重ねても可)

- 採点の観点
- 美しい姿勢、芸術性のある演技。
 - リズムとテンポの変化、めりはりと流れるような演技。
 - 技は正確な姿勢でおこなう。
 - 技の前の精神集中のための停止は厳しく減点していく。

Dスコア

CR 各0.5

- 難度表にあるリープ・ジャンプ・ホップの要素を1つ
(伸身・抱え込み可)
- グループ3のターン(180度以上)
- 後方のアクロバット系要素(後転可)
- 前方または側方のアクロバット系要素(前転可)

※ 終末技を含む最大8つの高い順からの難度点を数える。

3つのダンス系の技、3つのアクロバット系の技、残り2つの技は任意

床

- 採点の観点
- 技は正確な姿勢でおこなう。
 - 躍動感ある演技。
 - 美しい姿勢での、演技。
 - 美しい姿勢、芸術性のある演技。
 - リズムとテンポの変化、めりはりと流れるような演技。

Dスコア

CR 各0.5

- 180度の前後/左右開脚または開脚屈伸姿勢の跳躍技を1つは含む少なくとも2つの異なるダンス系での移動
※1つめのジャンプの着地は片足でなければならない、床面を大きく移動すること
- 片足上のターン(360度以上)
- 前方のアクロバット系要素
- 1つの後方系の技を伴う少なくとも2つの技からなるアクロバット系シリーズ(側転～後方倒立回転可)

※同一技は2回まで要素として数える。

終末技を含む最大8つの高い順からの難度点を数える。

3つのダンス系の技、3つのアクロバット系の技、残り2つの技は任意